

<金標準、政府機関の閉鎖リスクに地政学的リスクの高まり・・>



(出所：オアシス)

週末に発表された PCE デフレーターやミシガン大消費者信頼感指数では、FOMC で示された年内 2 回の利下げを阻む内容にはならなかった。また欧州では、ロシア軍機が NATO 加盟国に対する領空侵犯を頻繁に行った事から、NATO はロシアとの協議で「今後、領空侵犯には撃墜を行う」と強い警告を行うなど、NATO とロシアの緊張が高まりを見せるなど、地政学的なリスクの高まりを見せている。またトランプ大統領はホワイトハウスで記者団に「民主党はクレイジーだ。政府を閉鎖しなければならないなら、閉鎖されるしかない」と発言。「だが閉鎖するのは彼ら（民主党）だ」と話し、約 7 年ぶりとなる政府機関閉鎖の脅威を一蹴した上で、混乱が生じても責任は民主党にあると述べるなど、債務上限問題が今週から浮上する動きに思える。そのため金標準先物は、NY 金の強気の見方もあり、史上最高値を更新しながら週末には 18362 円を試しており、18000 円を割り込む事は難しい状況であると思われ、そのため 18000 円を試す可能性があれば、押し目買いの動きが強まると思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルは上昇している。RCI は短期が上昇し、長期は高値を維持している。特に日足が指數平滑移動平均線を超えて存在し、指數平滑移動平均線も切り上げるなど高値追いの動きを示唆していると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に關し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,955,000 円(2025 年 9 月 29 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2025 年 9 月 29 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間: 平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>